

.....
題 言
.....

營利事業と技術的良心

小諸堰堤崩壊の原因を思ふに、

一個の營利事業である以上冗費を省き經濟的施設を第一とするのは當然である。然し最初から早晚缺陷を暴露すべき事が明瞭であり其結果却て非經濟的なる施設を敢行したとすれば技術者たるもの其責を免れる事は出来ない。

我が邦で科學的技術の進歩を妨げる重大なる障害が二つある。

其一は非科學的な利己的な投資家が技術者を壓迫して技術上の信念に立脚せしむる事をなさず形さへ出来ればそれで良いと云ふ目前の利益に汲々たる徒輩の多い事。

其二是請負人對監督者側の問題で、これは説明を要せぬ程實例が多い。

此等の場合に於て技術者の執るべき態度は一である。曰く

『常に技術的良心に忠實なれ』(K.T)

原因は如何

小諸堰堤崩壊の現場に就て先づ學ぶべきは

第一 地質の對水的研究

第二 混凝土の合理的施工

である、其設計の如何はしばらく言はず、以上の二理由が今回の原因に大關係あるは敢て専門の調査委員を煩すまでもない事である。

東信電氣株式會社の社長の報告書にもガマ層の墜落だとしてある、果してガマ層の上に堰堤が築造されたか何うか分からないが、周圍の地質を見ても悪い事は知れる。

何れにしても斯んな平凡な理由で災害を生じた事は氣の毒に堪へない。

損害の程度

小諸堰堤崩壊の爲め人家耕地に及ぼしたる損害は十三萬圓と算定されてをる、復舊工事

費は未定であるが恐らく十萬圓を越えまいと思はれるが、即ち全體の損害は僅かなもので東信電氣株式會社としては經濟上に大した傷手ではあるまい。

會社が苦痛とする處は、他にも同様な施工ヶ所が在るかも知れないと云ふ不安定を世人が感ずる事であらうと思ふ。

東信會社としては現在他に大規模の水力工事を施工中であるから、以上の如き不安を感ぜしむる事は非常な不利益であり、且つ信用上の問題である。我等は他に不安ヶ所のない事を信ずる、同時に會社としても混凝土の合理的施工の實例を發表せらるゝが得策であると思ふ。

實物教育を徹底せよ

小諸ダム崩壊の問題から逕信省は地方水力工事に毎月監視技術者を廻らすこが傳へられるが、多數の工事を熱心に見廻る事が出来ればそれも一策である、が、

一步進んで各地方廳で混凝土施工法講習會を一週間位宛開催して、強制的に各工事關係現場員をして聽講せしめる事が最も必要である。

數字的な理論は抜きにして實物的な教育で施工法の良否を示す丈でも良い、自發的にやるのを待つてゐたのでは駄目である、今日の如く公的精神の癱痺してゐる時には強制的にやるより外はないと思ふ。

愛讀せよ實行せよ

吉田徳次郎博士の近著『混凝土施工法』が愛讀され、渡邊貫學士の近著『土質地質學』が精讀さるべき必要が益々生じて來た。

我々が先年『混凝土工事基本知識號』を發行し、次いで藤井學士の『混凝土の合理的配合と經濟的見積の原理』を別冊附録として無料配布し、又 Concrete Card 五萬枚を無料配布したる事業は愈々貴重なるものとなつて來た。